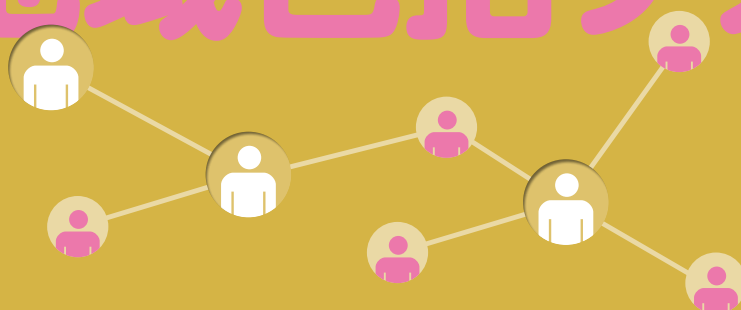


全世代型 地域包括ケア



縦割り組織をつなぐコツとは？

現代においては、家族形態の多様化・縮小に伴い、ダブルケアや8050問題、社会的孤立などの課題が複合する状況が浮き彫りとなってきた。従来の行政サービスの縦割り構造では十分に対応できない対象が現れてきており、2021年4月施行の改正社会福祉法でも、市町村の分野を超えた支援体制構築が求められるところである。本特集では、改めて年齢や障害を越えた「地域で包括的に支えあう仕組み」を目指す自治体の取り組みを紹介するとともに、その先にある地域共生社会の実現の具体的な可能性を探る。

- 地域共生社会に向けた重層的支援体制整備事業と多世代アプローチ
- 地域共生社会における分野横断的支援体制の構築に向けて 統括保健師への期待
- 岡山市の取り組み 地域の多職種・他機関の連携で地域共生社会を目指して
- 多摩市の取り組み 健幸まちづくり宣言を担う 医療的ケア児（者）施策を通して
- 病院看護師・訪問看護師・保健師でつなぐ地域包括ケア
その人らしく、安心して生活できる地域づくりを病院看護管理者の立場から考える